

FortiAnalyzer バージョンアップ手順書



改訂履歴

発行年月	版数	改版内容
2016/08	第 1.0 版	初版発行
2017/12/27	第 1.1 版	ver5.6 を追記
2020/01/22	第 1.2 版	参照 URL を更新

目次

1.	はじめに	4
2.	バージョンアップ手順概要	5
2.1.	WebUI と CLI の違い	5
2.2.	バージョンアップ手順概要	6
2.3.	ダウングレード手順概要	6
3.	WebUI アクセスの事前準備	7
3.1.	準備	7
3.2.	PC の設定	7
3.3.	接続	7
4.	CLI アクセスの事前準備	8
4.1.	準備	8
4.2.	PC の設定	8
4.3.	接続	8
5.	Config のバックアップ	9
5.1.	Config のバックアップ	9
5.1.1.	ver.5.2 代の場合	9
5.1.2.	ver.5.4 代の場合	10
5.1.3.	ver.5.6 代の場合	11
6.	Config のリストア	12
6.1.	Config のリストア	12
6.1.1.	ver.5.2 代の場合	12
6.1.2.	ver.5.4 代の場合	13
6.1.3.	ver.5.6 代の場合	14
7.	WebUI でのアップグレード	15
7.1.	アップグレード	15
7.1.1.	ver.5.2 代の場合	15
7.1.2.	v5.4 代の場合	17
7.1.3.	v5.6 代の場合	19
8.	CLI でのアップグレード、ダウングレード	21
9.	レポートの確認	23
10.	設定・disk のフォーマット	23

1. はじめに

本マニュアルは FortiAnalyzer の OS バージョンを弊社推奨バージョンへアップグレードを行う際の手順、注意事項について記載しています。

※注意

アップグレードを行う際は、必ずアップグレードするバージョンの **Information** 資料も読んでから実施するようにして下さい。

Information 資料は下記の通りです。

資料名 : FortiAnalyzer Ver.x.0 MRy Patchg Information

“Ver.x.0”がメジャーバージョン、“MRy”がマイナーバージョン、“Patchg”が Patch に該当致します。

OSver5.0 MR6 patch1 へアップグレードする場合は、“FortiAnalyzer Ver.5.0 MR6 Patch1 Information”をご確認ください。

OSver5.0 MR4 patch1 へアップグレードする場合は、“FortiAnalyzer Ver.5.0 MR4 Patch1 Information”をご確認ください。

OSver5.0 MR2 patch7 へアップグレードする場合は、“FortiAnalyzer Ver.5.0 MR2 Patch7 Information”をご確認ください。

OSver5.0 Patch12 へアップグレードする場合は、“FortiAnalyzer Ver.5.0 Patch12 Information”をご確認ください。

資料は下記 URL よりダウンロードを行ってください。

<https://gold.nvc.co.jp/fortinet/OS/download/faz/information>

2. バージョンアップ手順概要

2.1. WebUI と CLI の違い

FortiAnalyzer のアップグレード・ダウングレードは WebUI による操作と CLI による操作を行うことができます。

<アップグレード>

[WebUI]

設定情報を引き継ぎつつ OS の Version を上げる事が可能です。通常のアップグレード時は WebUI での操作を推奨します。

*一部引き継がれない設定がございます。詳細は各 OS の Information 資料を参照ください。

[CLI]

工場出荷状態になり、設定情報は引き継がれません。OS を入れ直す必要がある場合や特別な操作が必要な場合などに CLI での操作を実施します。

<ダウングレード>

[WebUI]

一部の設定が失われる場合がございます。そのため、ダウングレードは CLI から行うことを推奨します。

[CLI]

工場出荷状態になり、設定情報は引き継がれません。

2.2.バージョンアップ手順概要

バージョンアップ手順は下記の通りです。

順番	手順	注意点	参照
1	事前準備		3.WebUI アクセスの事前準備
2	config のバックアップ		5.Config のバックアップ
3	レポートの確認		9.レポートの確認
4	WebUI からのバージョンアップ	※機器の再起動を行うのでログを一時的に受信できなくなります。	5.WebUI でのアップグレード
5	設定や動作の確認を行います		

2.3.ダウングレード手順概要

ダウングレード手順は下記の通りです。

順番	手順	注意点	参照
1	事前準備		4.CLI アクセスの事前準備
2	Config のバックアップ		5.Config のバックアップ
3	レポートの確認		9.レポートの確認
4	CLI からのダウングレード	※機器の再起動を行うのでログを一時的に受信できなくなります。	8.CLI でのアップグレード、ダウングレード
5	設定・disk のフォーマット	※筐体内のログと設定がリセットされます。	10.設定・disk のフォーマット
6	Config のリストア	※機器の再起動を行うのでログを一時的に受信できなくなります。	6.Config のリストア

3. WebUI アクセスの事前準備

3.1. 準備

以下のものを準備します。

- ネットワーク接続可能な PC(対応ブラウザ情報はアップグレードするバージョンの **Information** 資料をご確認ください。)
- バージョンアップもしくはダウングレードするファームウェアファイル
- リストアする config ファイル(事前にバックアップしたファイルをリストアする場合)

3.2. PC の設定

WebUI では、PC のブラウザを利用して Config のバックアップを行います。

その為、作業は FortiAnalyzer に対してアクセスが許可されている PC で行います。

3.3. 接続

- (1) FortiAnalyzer の HTTP/HTTPS のアクセスを許可しているインタフェースに、PC を直接またはネットワーク経由で接続します。
- (2) PC のブラウザにて FortiAnalyzer にアクセスします。
(ブラウザに URL <https://xxx.xxx.xxx.xxx> もしくは <http://xxx.xxx.xxx.xxx> を指定します。
x は FortiAnalyzer の IP アドレスを指定します。)
- (3) ログイン画面が表示されるので、ユーザー名・パスワードを入力してログインをクリックします。

4. CLI アクセスの事前準備

4.1. 準備

以下のものを準備します。

- PC(TeraTerm 等のターミナルソフト、TFTPServer ソフトがインストールされているもの)
- LAN ケーブル
- シリアルケーブル (FortiAnalyzer に付属)
- アップグレード(またはダウングレード)するファームウェアファイル
- リストアする config ファイル(事前にバックアップしたファイルをリストアする場合)

4.2. PC の設定

CLI では、TFTP サーバを利用してアップグレードを行います。そのため、PC の IP アドレスの設定とターミナルソフトの設定が必要になります。

- (1) PC の IP アドレスを設定します。(例:192.168.1.168/24)
- (2) ターミナルソフトを起動して設定を以下の通りに設定します。
 - ボーレート:9600
 - データ :8ビット
 - パリティ :なし
 - ストップ :1
 - フロー制御:なし
- (3) TFTPServer ソフトを起動して、ファームウェアを保存してあるフォルダを指定します。

4.3. 接続

- (1) ターミナルソフトより FortiAnalyzer に CLI でアクセスします。
- (2) ユーザー名・パスワードを入力してログインします。

5. Config のバックアップ

5.1. Config のバックアップ

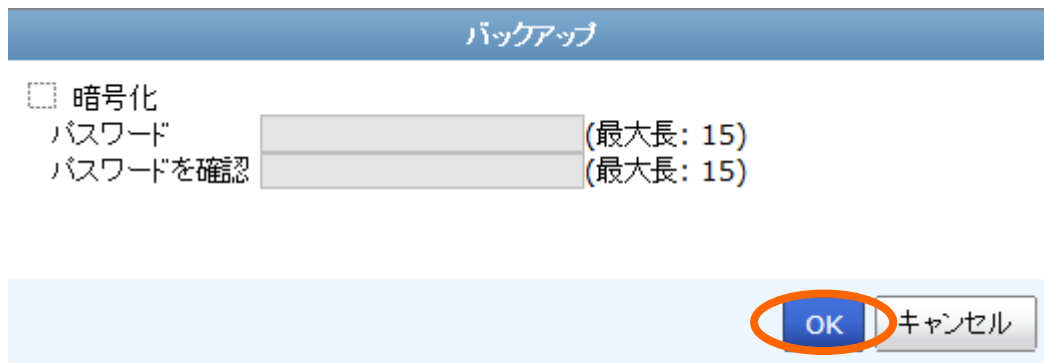
5.1.1. ver.5.2 代の場合

- (1) システム設定タブを選択後、トップ画面左のダッシュボード > システム情報 > システムコンフィグレーション にある『バックアップ』をクリックします。



(図 5.1.1-1. システム設定のシステム情報画面)

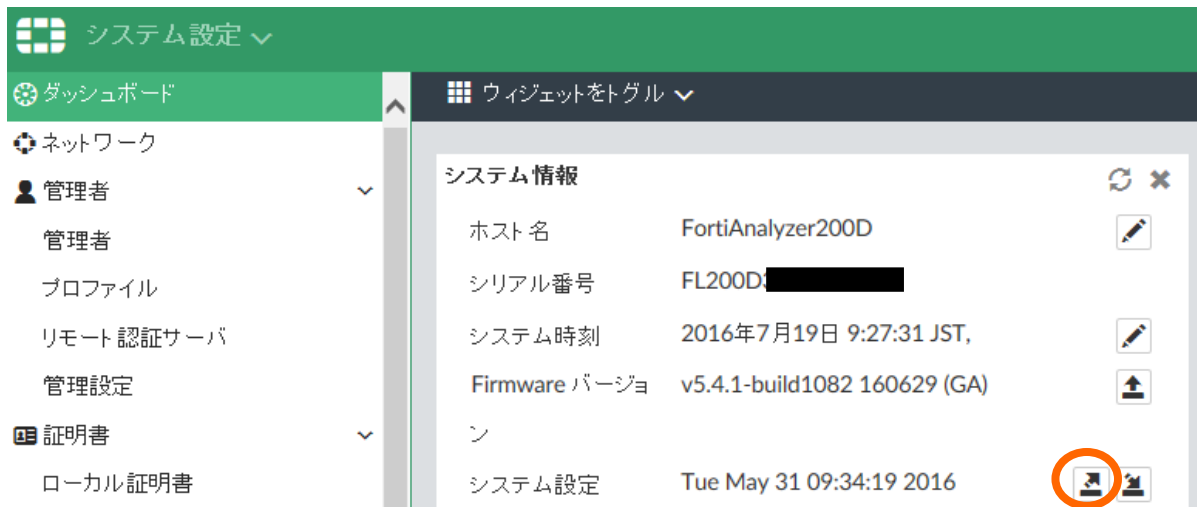
- (2) 『暗号化』のチェックを外し、バックアップ画面の『OK』をクリックして、ファイル名を指定しバックアップファイルをダウンロードします。



(図 5.1.1-2. バックアップ画面)

5.1.2. ver.5.4 代の場合

- (1) システム設定タブを選択後、トップ画面左のダッシュボード > システム情報 > システム設定 にあるバックアップアイコンをクリックします。



(図 5.1.2-1. システム設定のシステム情報画面)

- (2) 暗号化の『有効』からチェックを外し、バックアップ画面の『OK』をクリックして、ファイル名を指定しバックアップファイルをダウンロードします。

バックアップシステム

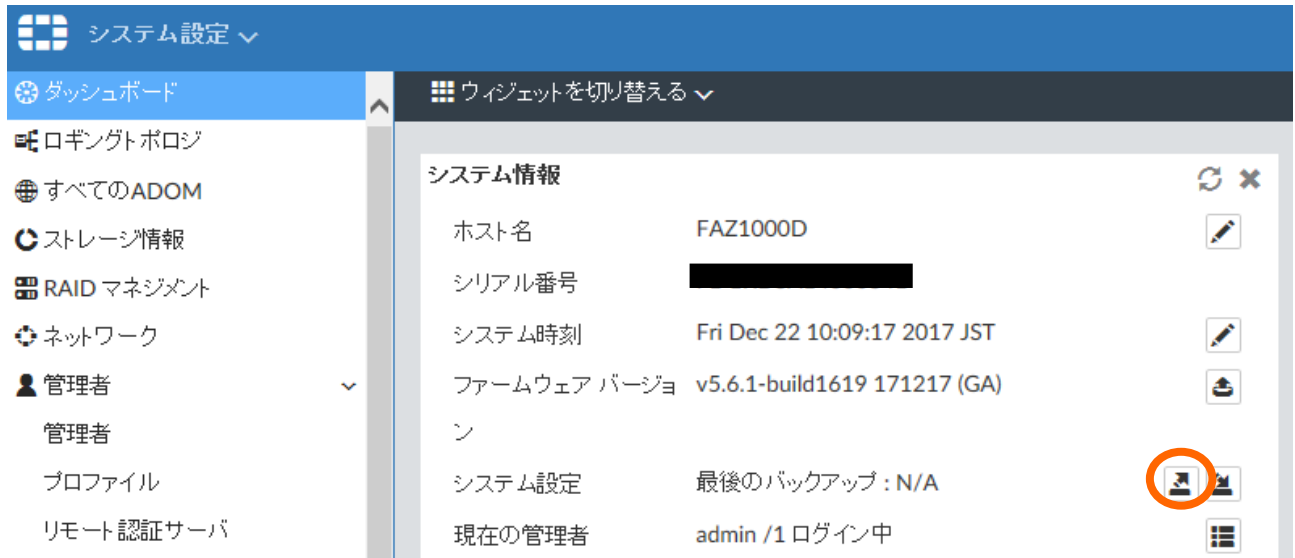
暗号化



(図 5.1.2-2. バックアップ画面)

5.1.3. ver.5.6 代の場合

- (1) システム設定タブを選択後、トップ画面左のダッシュボード > システム情報 > システム設定 にあるバックアップアイコンをクリックします。



(図 5.1.3-1. システム設定のシステム情報画面)

- (2) 暗号化の『有効』からチェックを外し、バックアップ画面の『OK』をクリックして、ファイル名を指定しバックアップファイルをダウンロードします。

バックアップシステム

暗号化



(図 5.1.3-2. バックアップ画面)

6. Config のリストア

6.1. Config のリストア

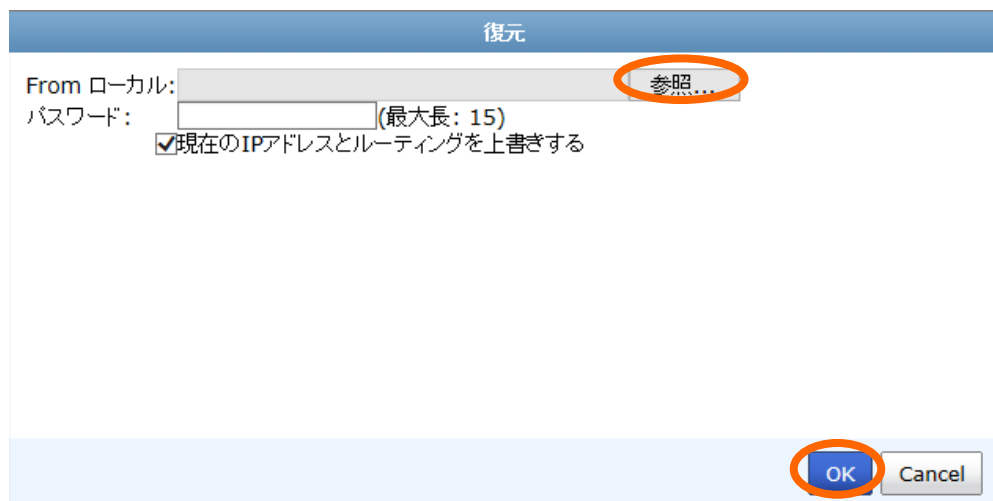
6.1.1. ver.5.2 代の場合

- (1) システム設定タブを選択後、トップ画面左のダッシュボード > システム情報 > システムコンフィグレーション にある『復元』をクリックします。



(図 6.1.1-1. システム設定のシステム情報画面)

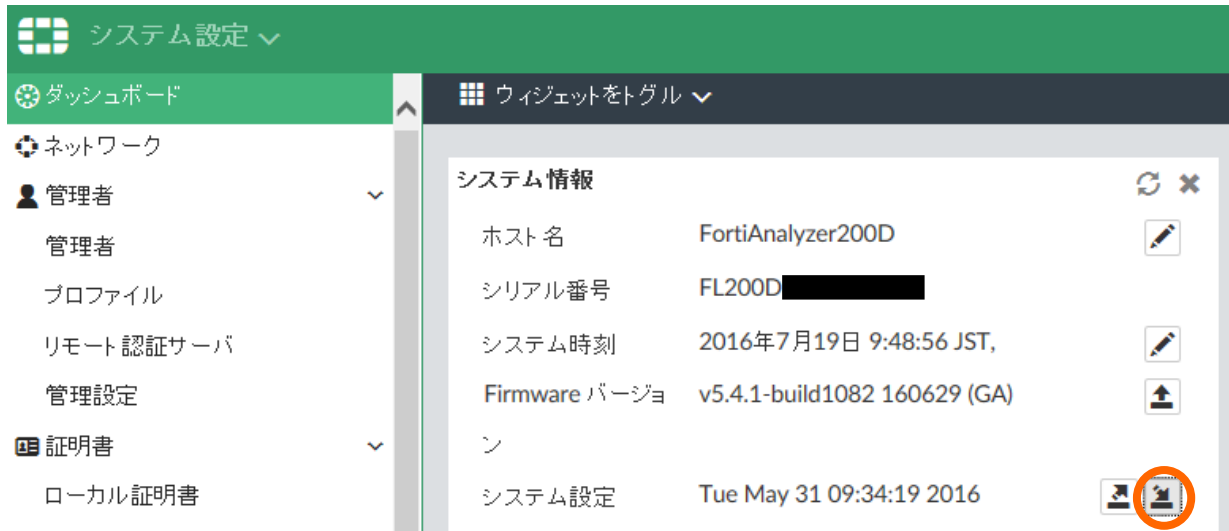
- (2) 『参照...』ボタンをクリックし、リストアするファイルを選択後に『OK』ボタンをクリックします。



(図 6.1.1-2. リストア画面)

6.1.2. ver.5.4 代の場合

- (1) システム設定タブを選択後、トップ画面左のダッシュボード > システム情報 > システム設定 にあるリストアアイコンをクリックします。



(図 6.1.2-1. システム設定のシステム情報画面)

- (2) 『ブラウズ...』ボタンをクリックし、リストアするファイルを選択後に『OK』ボタンをクリックします。

システムの復元

バックアップファイル
を選択

ブラウズ...

パスワード

最大のパスワード長: 63

現在のIPアドレス、ルーティング設定を上書き

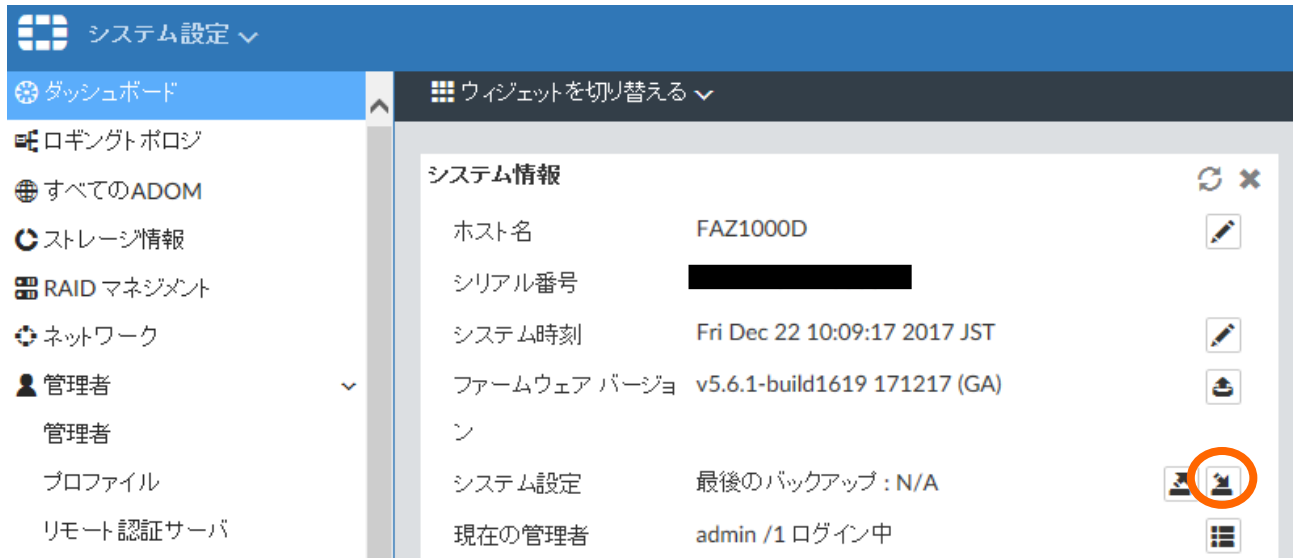
OK

キャンセル

(図 6.1.2-2. リストア画面)

6.1.3. ver.5.6 代の場合

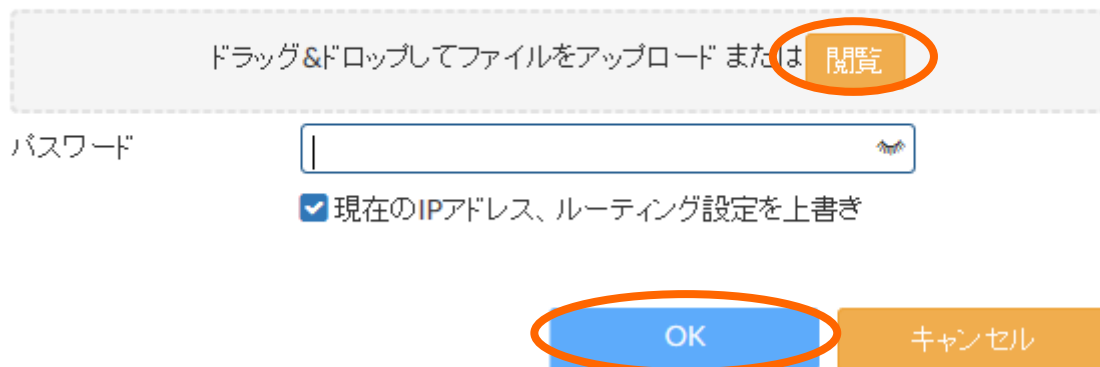
- (1) システム設定タブを選択後、トップ画面左のダッシュボード > システム情報 > システム設定 にあるリストアアイコンをクリックします。



(図 6.1.3-1. システム設定のシステム情報画面)

- (2) 『閲覧』 ボタンをクリックし、リストアするファイルを選択後に『OK』 ボタンをクリック、またはファイルをドラッグ&ドロップして『OK』 ボタンをクリックします。

システムの復元



(図 6.1.3-2. リストア画面)

7. WebUI でのアップグレード

注意：バージョンアップ時にはログを一時的に受信できなくなります。

7.1. アップグレード

7.1.1. ver.5.2 代の場合

- (1) システム設定タブを選択後、トップ画面左のダッシュボード > システム情報 > ファームウェアバージョンにて現在のバージョンを確認します。



(図 7.1.1-1.バージョン情報確認画面)

- (2) 現在の config のバックアップを取得します。 [5.Config のバックアップ](#) 参照
- (3) ファームウェアバージョン項目の右側にある『アップデート』をクリックします。



(図 7.1.1-2.アップデートボタン確認画面)

- (4) 画面が切り替わった後『参照』ボタンをクリックしアップデートするファームウェアファイルを選択します。

(5) 『OK』をクリックするとアップグレードが始まり、自動的に再起動します。

※機器の再起動を行うのでログを一時的に受信できなくなります。

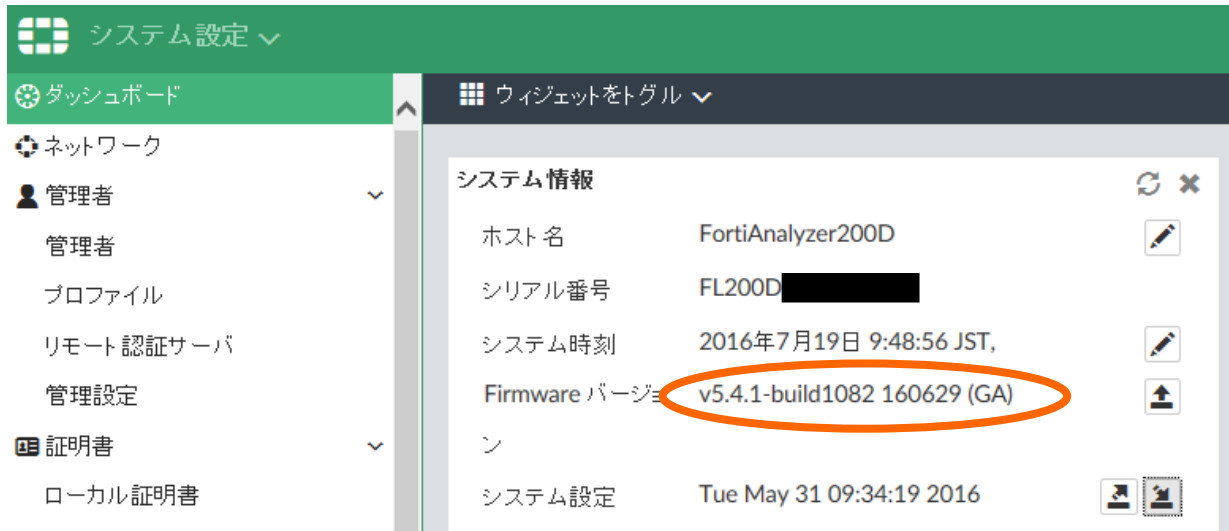


(図 7.1.1-3.アップロードファイル参照画面)

- (6) 再起動後、再度 FortiAnalyzer の WebUI へ接続します。
- (7) 項番(1)と同様にして、ファームウェアバージョンの確認を行います。
- (8) コンフィグをバックアップします。 [5.Config のバックアップ](#) 参照
- (9) アップグレードによる問題の有無を確認します。
問題が発生した場合は設定等を見直し問題の修正または切り戻しを行います。

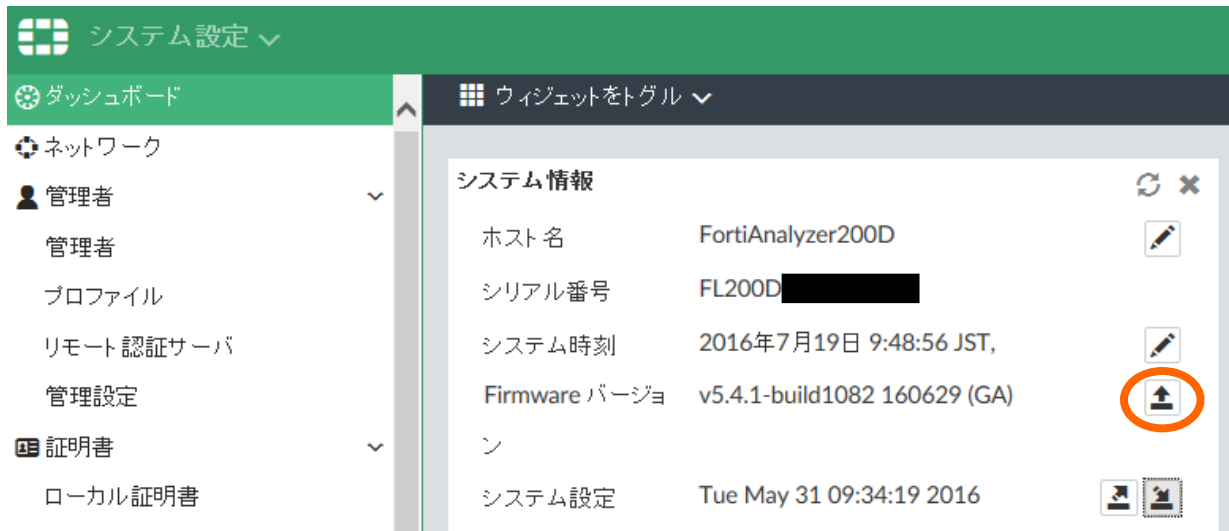
7.1.2. v5.4 代の場合

- (1) システム設定タブを選択後、トップ画面左のダッシュボード > システム情報 > Firmware バージョン にて現在のバージョンを確認します。



(図 7.1.2-1.バージョン確認画面)

- (2) 現在の config のバックアップを取得します。 [5.Config のバックアップ](#) 参照
 (3) Firmware バージョン項目の右側にあるアップグレードアイコンをクリックします。



(図 7.1.2-2.アップグレードボタン確認画面)

- (4) 画面が切り替わった後『ブラウズ...』ボタンをクリックしアップグレードするファームウェアファイルを選択します。

ファームウェアのアップロード

From Local

ブラウズ...

OK

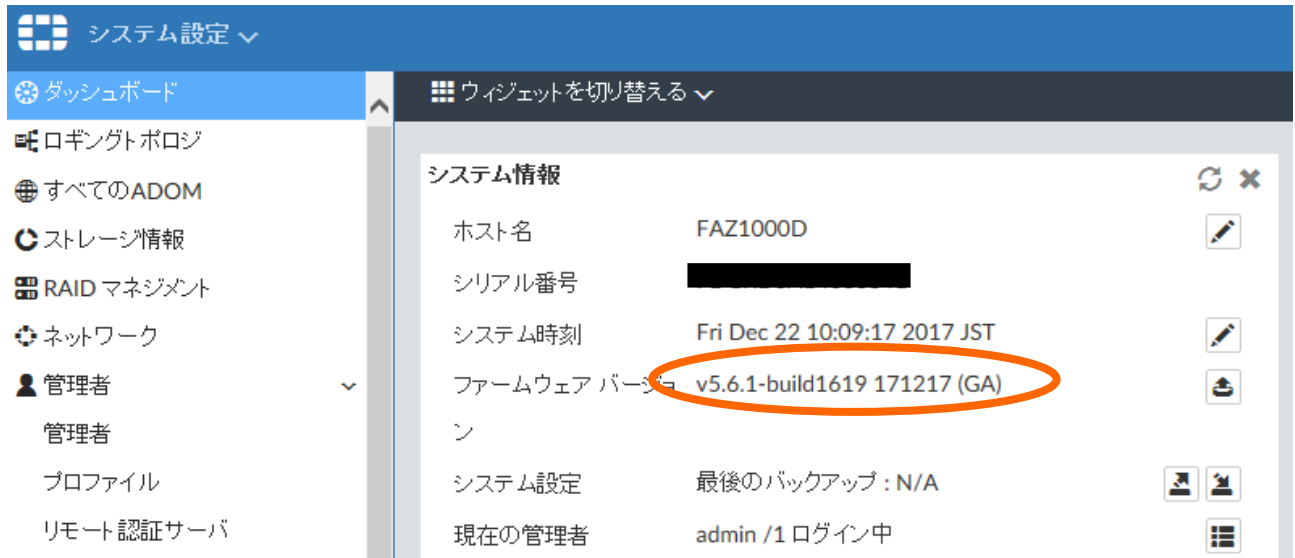
キャンセル

(図 7.1.2-3.アップロードファイル参照画面)

- (5) 『OK』をクリックするとアップグレードが始まり、自動的に再起動します。
※機器の再起動を行うのでログを一時的に受信できなくなります。
- (6) 再起動後、再度 FortiAnalyzer の WebUI へ接続します。
- (7) 項番(1)と同様にして、ファームウェアバージョンの確認を行います。
- (8) コンフィグをバックアップします。 [5.Config のバックアップ](#) 参照
- (9) アップグレードによる問題の有無を確認します。
問題が発生した場合は設定等を見直し問題の修正または切り戻しを行います。

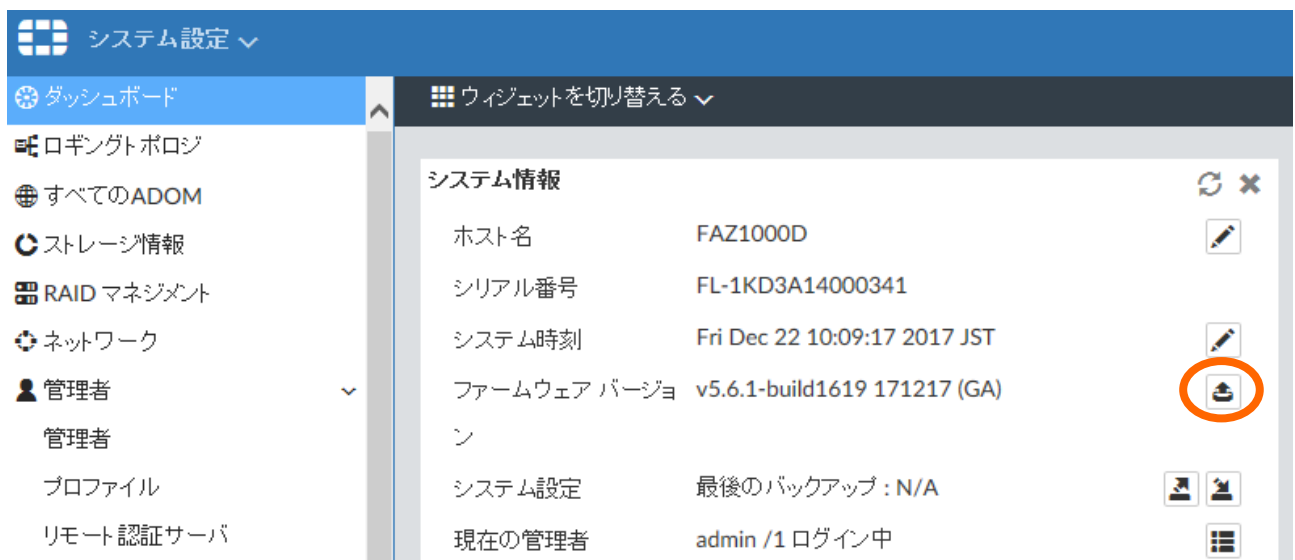
7.1.3. v5.6 代の場合

- (1) システム設定タブを選択後、トップ画面左のダッシュボード > システム情報 > ファームウェアバージョンにて現在のバージョンを確認します。



(図 7.1.3-1.バージョン確認画面)

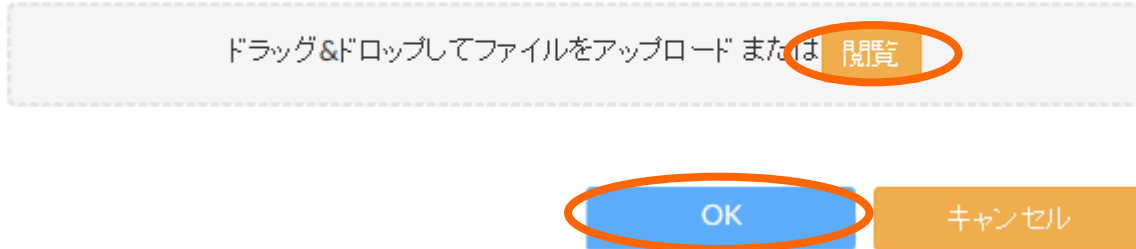
- (2) 現在の config のバックアップを取得します。 [5.Config のバックアップ](#) 参照
 (3) ファームウェアバージョン項目の右側にあるアップグレードアイコンをクリックします。



(図 7.1.3-2.アップグレードボタン確認画面)

- (4) 画面が切り替わった後『閲覧』ボタンをクリックし、アップグレードするファームウェアファイルを選択後、またはファイルをドラッグ&ドロップします。

ファームウェアのアップロード



(図 7.1.3-3.アップロードファイル参照画面)

- (5) 『OK』をクリックするとアップグレードが始まり、自動的に再起動します。
※機器の再起動を行うのでログを一時的に受信できなくなります。
- (6) 再起動後、再度 FortiAnalyzer の WebUI へ接続します。
- (7) 項番(1)と同様にして、ファームウェアバージョンの確認を行います。
- (8) コンフィグをバックアップします。 [5.Config のバックアップ](#) 参照
- (9) アップグレードによる問題の有無を確認します。
問題が発生した場合は設定等を見直し問題の修正または切り戻しを行います。

8. CLI でのアップグレード、ダウングレード

注意 1：バージョンアップ時にはログを一時的に受信できなくなります。

注意 2：CLI でアップグレードを実施する場合、Config やユーザー名、パスワードは工場出荷時状態になります。必ず config のバックアップを行うようにしてください。

- (1) 現在のバージョンを get system status コマンドで確認します。

```
# get system status
```

```
Version: v5.2.7-build0760 160421 (GA)
```

※上記は Version5.0 MR2 Patch7 での実行例となります。

- (2) execute reboot と入力し、リブートを行います。

※機器の再起動を行うのでログを一時的に受信できなくなります。

- (3) リブート後 Press Any Key To Download Boot Image.と表示されたら何かキーを押します。

Enter G,F,B,Q,or H: と表示されるので G を入力します。

※機器によっては何かキーを押した後、G を押さず(4)へ移行するものもあります。

* 下記は実際に CLI からアップグレードを行なったときの CLI 画面です。

FortiAnalyzer の CLI 画面

```
FAZ200D # execute reboot
```

```
This operation will reboot the system.
```

```
Do you want to continue? (y/n)y
```

```
The system is going down NOW !!
```

```
OK
```

```
Please stand by while rebooting the system.
```

```
Restarting system.
```

```
FortiBootLoader
```

```
FortiAnalyzer-200D (13:52-07.10.2012)
```

```
Ver:00010003
```

```
Serial number:FL200D
```

```
Total RAM: 4096MB
```

Boot up, boot device capacity: 1968MB.

Press any key to display configuration menu...

..... ←ここで何かキーを押す

[G]: Get firmware image from TFTP server.

[F]: Format boot device.

[B]: Boot with backup firmware and set as default.

[Q]: Quit menu and continue to boot with default firmware.

[H]: Display this list of options.

Enter G,F,B,I,Q,or H: ← G を入力する

- (4) Enter tftp server address [192.168.1.168]: と表示されるので PC の IP アドレスを入力します。
(例: Enter tftp server address [192.168.1.168]: 192.168.1.10)
- (5) Enter local address [192.168.1.188]: と表示されるので FortiAnalyzer の IP アドレスを入力します。
(例: Enter local address [192.168.1.188]: 192.168.1.99)
- (6) Enter firmware image file name [image.out]: と表示されるので Firmware のファイル名を入力します。
(例 : Enter firmware image file name [image.out]:
FAZ_200D-v5-build1082-FORTINET.out)
- (7) その後、Save as Default firmware/Backup firmware/Run image without saving:[D/B/R]? と確認メッセージが表示されるので **D** キーを押す
*モデルによっては”B”が表示されません。
- (8) 再起動したのち、ログイン(User:admin, Password:なし)をして項番(1)の手順で現在のバージョンの確認を行います。
- (9) アップグレードによる問題の有無を確認します。
問題が発生した場合は設定等を見直し問題の修正または切り戻しを行います。

9. レポートの確認

作成中もしくはペンディング中のレポートがある場合、バージョンアップによってレポートが失われます。ですので、下記手順によりレポートの確認を行います。

- (1) CLI へアクセスします
- (2) 下記コマンドを入力し、作成中もしくはペンディング中のレポートがないか確認します。

```
FAZ200D # diagnose report status running
```

```
FAZ200D # diagnose report status pending
```

10. 設定・disk のフォーマット

設定・disk のフォーマット手順は下記の通りです。

- (1) CLI へアクセスします。
- (2) 下記コマンドを入力して disk をフォーマットします。

➤ 設定のフォーマット

```
execute reset all-settings
```

➤ disk のフォーマット

```
execute format disk
```

- (3) 下記メッセージが出力されるので「y」と入力します。

※コマンド実行後、機器の再起動が発生致します。

➤ 設定のフォーマット

```
This operation will reset all settings to factory defaults
```

```
Do you want to continue? (y/n)
```

➤ disk のフォーマット

```
This operation will format hard disk
```

```
Do you want to continue? (y/n)
```

以上